

世界の完結する時

彼（基督）、我（ヨハネ）に言う。

「完結せり。我は A にして Ω、発端にして終極なり。

我は、渇き求める者に、生命の水の泉から、無償で与う。

勝利者は全て承継せん。我は彼の神と為り、彼は我の子と為る。

然るに、

臆病者ら、不信仰者ら、被嫌悪者ら、殺人者ら、男色者ら、魔術師ら、

偶像崇拜者らおよび凡ゆる虚偽言説者ら。

彼らの肢体は火と硫黄が燃ゆる池の中に在らん。

第二の死なり。」

I 完結せり

(1) 「完結した」

「完結せり」。^{完了}「完了した」「成就した」「事が成った」「時が来た」「期が熟した」「完成した」という意味でも。

「神が最初に天を創造し、次いで地を創造した」（創 1:1）。神の意思によって宇宙空間を創造し、時間を始めた。万物は、神の言葉で創造され統治されている。「自然に関する神の法（lex Dei naturalis）」。

神の世界創造には神の目的がある。「タラントの喩え」（マタイ 25:14-30）。主人から託されたタラントの活用が問題。活用しなかった者は泣いて歯軋りする暗い闇（地獄）に。

(2) 「A であり Ω である」

基督は世界の最初で、同時に世界の最後。「神の永遠」。

全てを神の前に曝け出す礼拝、霊と真の礼拝（ロマ 12:1）。

II 神となり、民となる

(1) 「渇く者には与える」

「水と空気はただ」という日本、水の豊富な福井では想像難いが、場面は中東。砂漠の中を何日も何日も彷徨し、「もう駄目」という状況で求

めるイメージ。

生命の代価は1万タラント（マタイ 18:24）。20 万年分の労働賃金。無償で。これが神の福音、基督の福音。

(2) 「勝利者は承継する」

「勝利者」の相手は人間ではなく、悪魔。悪魔に従う者は悪魔と共に火の池。悪魔に勝つ唯一の方法は基督と一つになる事。

(3) 「神となり、民となる」

「神となり、民となる」という永遠の契約（創 17:7）。聖書の救いの構造は神と民との契約。男と女の婚姻に例えられる。基督信者は基督の婚約者。完結の時に婚姻成立。

III 第二の死

(1) 列举された敗者

第一「臆病者」。「臆病の霊ではなく、力と愛と思慮分別の霊を与え給えり」（2 テモ 1:7）。剛腕、無鉄砲、怖いもの知らずが臆病なのです。

第二「不信頼者」。神を信じて、神に信頼しない者。

第三「嫌悪される者」。旧約聖書でいう「忌み嫌う可き者」。

第四「殺人者」。人を殺すことは神を殺すこと。

第五「男色者」。神創造の男と女の間係を破壊する行為。

第六「魔術師」。神の法を打破し、独自の世界を切開く。

第七「偶像崇拜者」。無神論者は、神の存在を否定し、自己を神の座に据える偶像崇拜。「金銭を愛することが悪の根」（1 テモテ 6:10）。

第八「凡ゆる虚偽言動者」。嘘の原点はエデンの園の悪魔。

(2) 「火と硫黄の燃える池」

人間は、天国に揚げられて永遠の生命に入るか、地獄に落とされて永遠の死に置かれるのです。

(3) 「第二の死」

第一の死にある者は、世界の完結した後、火の池、地獄に落とされ、永遠の刑罰に入られますが、それが第二の死です。